

2025年6月29日(日)

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

聖霊降臨節第4主日

朝第1礼拝 9:00~10:00
朝第2礼拝 10:30~11:45
夕礼拝 18:00~19:00

〈神の招き〉	前奏	① 天にまします我らの父よ ② いざわが魂よ、主を誉めよ <input checked="" type="checkbox"/> 御言葉もて主よ	ツァッハウ ブクステフーデ バッハ
	招きの詞 交読詩編 讃美歌	詩編 51 : 12~14 67 : 1~6 ①② 8 <input checked="" type="checkbox"/> 1	
〈神の言葉〉	聖書	イザヤ書 40 : 1~11 マルコによる福音書 13 : 28~37	(旧約 聖書協会共同訳 1107 頁) (新約 聖書協会共同訳 88 頁)
	祈禱 讃美歌	①② 53 <input checked="" type="checkbox"/> 465	
	説教 祈禱 黙想 讃美歌	「いちじくの木から学ぶ」 ①② 436 <input checked="" type="checkbox"/> 529	熊江秀一牧師
〈神への応答〉	使徒信条 献金の祈り 宣教報告② <input checked="" type="checkbox"/> 頌栄 派遣と祝福 後奏	27 ① 備えて祈れ ② 主イエス・キリスト、われらを顧みたまえ <input checked="" type="checkbox"/> 来たれ聖霊よ	ヴァルター バッハ ツイポリ
	宣教報告①		

今週の御言葉

(マルコによる福音書 13 : 30~31)
よく言っておく。これらのことがみな起こるまでは、この時代は決して滅びない。天地は滅びるが、私の言葉は決して滅びない。

次週の礼拝(7月6日) 聖餐式

① 9:00、② 10:30
説教「主に香油を注いだ女」熊江秀一牧師
サムエル記上 16 : 12~13、
マルコによる福音書 14 : 1~9
交読詩編 14 : 1~7
讃美歌 12、55 (奉唱 I-242)、567、
78、28

18:00
説教「救いを待ち望む」佐藤潤伝道師
イザヤ書 42 : 5~9、
ルカによる福音書 2 : 22~38
交読詩編 14 : 1~7
讃美歌 13、461、536、78、28

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、は夕礼拝。

私が説教を担当する朝の礼拝では、エフェソの信徒への手紙からみ言葉に聴いています。今回は、「恵みと平和」についてみ言葉に聴きました。

現代社会において、戦争や紛争、右か左か、賛成か反対かといった分断が、ますます深刻化しているように思われます。今日の教会でも、同じような分断や混乱が全くないとは言えません。多様性が豊かにある一方で、それが一致を難しくさせるという現実もあります。

本日の箇所では、そのような分断の中にあつたエフェソの教会、そして今の時代を生きる私たちの教会に向けて、「神の恵みの選び」によって、教会はキリストにおいて一つにまとめられる、ということが語られています。どちらが正しく、どちらが間違っていると裁き合うのではなく、「神の恵みの選び」に与っている者として、ただ神をほめたたえて生きるのです。神をほめたたえるのが教会だからです。神はご計画の実現のために、

私たちが恵みによって選び、教会に連なる者としてくださいました。私たちのために十字架の上で死んで、復活され、栄光の体で天に昇られた主イエスが、今や教会の頭として、私たちを守り、支配してくださっています。神は、ただ主イエスにあつて、一方的な恵みによって私たちを選び、今日も教会に呼び集めてくださっています。

教会は背景や価値観が異なる人々が、共に礼拝をささげている場所です。教会はこの地上において、主イエスにあつて一つに帰されていく場所です。神は、聖霊によって、主イエスを通して、私たちを教会に集め祝福してくださっています。

私たち信仰者は、教会の頭である主イエスの恵みを受けて、神の救いのご計画の中を共に歩む者とされています。ですから「神の恵みの選び」に与っている者として、神の祝福にお応えし、喜びをもって神をほめたたえ続けていくのです。